

こども広報

9
がっごう
月号

みんなで発見
いいね!
四日市

しょうねん し ぜん いえ
「四日市市少年自然の家」



少年自然の家 MAP



少年自然の家
のイベント情報は
ホームページで
ご確認ください。

四日市市
少年自然の家HP

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、施設の利用を停止していることがあります。

第26回 **お仕事おしえて**
 よっかいちひとまき
 四日市ゆかりの人に聞きました



私は、
 映画を通して
 自分を表現
 しています。

映画監督の瀬木直貴さんにお話を聞きました。

映画監督の仕事とはどんなものですか？

映画監督とは映画制作の指揮をとる人のことです。例えば、俳優やカメラマン、編集する人などに指示をしたり、制作するためのお金をやりくりしたり、映画を作り上げていくための指揮をとるのが監督の仕事です。映画監督はひとりでは何もできません。演技をすることも、カメラを回すことも、映像編集もできません。でも、監督がいなくて映画はできないのです。重要で重大な存在であることは間違いないですね。

映画が完成するまでの流れを教えてください。

どんな映画にするか企画をして、脚本を書きます。同時に、協力してくれるスポンサーを探します。次に撮影をして、映像を編集します。完成したらしっかり宣伝をして、上映です。映画1本が上映されるまで企画から脚本制作で約2年、全体では大体4年ほどかかります。



映画監督になるにはどうしたらいいですか？

決まった方法はありません。映画制作の学校で勉強したり、制作会社に就職することでも映画監督への道はひらけます。あとは、たくさん映画を観たり、映画に関する本を読むなど映画について研究すること。そして、監督は人を動かす仕事なので、人との関係に良く築く力をつけることも大切だと思います。



瀬木直貴さん
 四日市市出身
 泊山小学校、南中学校、
 四日市高校、立命館大学卒
 映画監督、
 四日市市観光大使

〈作品リスト〉

- いのちスケッチ(2019)
- 恋のしずく(2016)
- カラアゲ☆USA(2014)

四日市を舞台にした映画
いずれの森が青き海(2003)

この仕事のどんなところにやりがいを感じますか？

映画を観た人が影響を受けて、考え方や行動がプラスの方向に変わってくれた時はとてもやりがいを感じます。楽しんでくれることはもちろんですが、作った映画が人の役に立つというのはとてもうれしいですね。今までもこれからも希望の光を感じることでできる映画を作りたいです。

映画を作っていない時はどんなことをしていますか？

私の生活の全てが映画につながっているので、映画を作っていない時はないかもしれません。どこかに遊びに行ったり、おいしいご飯を食べたり、散歩している時に美しい景色を見たりすることなど全ての経験が映画に生きています。日々、自分が感じたことを外に吐き出すことを「表現」といいます。私は映画を通して自分を表現しています。同じことをしていても人によって感じることは全然違いますよね。「表現」は、その方法も、形になるものも、人それぞれ違います。これが皆さんそれぞれの大切な個性です。



瀬木さんのこれからの夢または目標をお聞かせください。

一生映画制作を続けることです。映画界で認められたり、ヒット作品を作ったりするのは通過点でしかありません。これからもオリジナルの作品を作り続けていきたいと思っています。

四日市の子どもたちへメッセージをお願いします。

大人になった時に「あの時もうちよつと頑張っておけばよかったな」「あの時こうしたら良かったな」と思わないようにしてください。挑戦しなければ、成功のチャンスはありません。とりあえずやってみたらええやん！



見つけたい!

四日市おもしろスポット

みなさんに教えてもらった四日市内の「すてきな」「おもしろいな」「何だろう」とおもしろいような場所や施設などを紹介!



浜田公園

浜田小4年 梅津 太郎さん
公園+浜田小学校のグラウンドも使えるから。



生桑長松神社

三重小4年 渡邊 美穂さん
おまいりができて夏祭りもする場所。



春の丘

常磐西小6年 棒谷 倅帆さん
広くて、散歩コースにもオススメです。



川柳

投稿してね!
投稿方法は4ページ

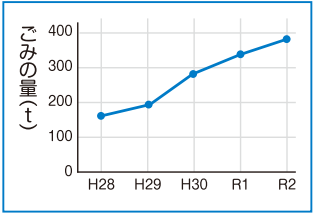
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 月よりも 光輝く
朝明中3年 鈴木 琉斐さん | 夏休み 鳴り響くのは 親の声
富田中3年 稲垣 伊織さん | 夏休み すごく長くて 母こまる
羽津北小5年 木下 絢心さん | 雨の音 何度きいても きれいだな
常磐小3年 和田 夏葉さん |
|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|

川柳は俳句のように季語は必要ありません。五・七・五の十七音で、生活の中で、感じたことを楽しく自由に語ってください。たくさんの投稿をお待ちしております。

クイズ データランド

答えを送ってね!
投稿方法は4ページ

右のグラフは、平成28年から令和2年に四日市市クリーンセンターで処理されたあのごみの量です。次の①~③のうちどれでしょう。番号で答えましょう。



(参考:生活環境課調べ)

- ①可燃ごみ ②破碎ごみ ③資源物

ヒント①
令和2年の四日市市クリーンセンターで処理されたごみの総量は、H28の総量より減っています。

ヒント②
このグラフから、市民のリサイクルへの意識の高まりが感じられます。

正解者の中から抽選で3人に、4ページのプレゼントをお送りします。答えと当選者名は11月号で発表します。

よっかいち 四日市 子どもの書店

どろどろ 投稿してね!

投稿方法は4ページ

読者が選ぶとっておきの一冊!

あなたのお薦めの一冊を40字以内で紹介してください。市立図書館の児童書コーナーにも展示されます。

とびだすまなべる せかいのいきもの

ペギー・ニール 著

出版社: パイインターナショナル

せかいのいきものがとびだしてくるほんでひらがなでちいさいこもわかる。

怪盗 アルセーヌ・ルパン あやしい旅行者

モーリス・ルブラン 著

出版社: 学研プラス

ルパンがガニマルけいぶから色々なほうをつかって何回もにげるのがおもしろいです。

モナミは世界を終わらせる?

はやみね かおる 著

出版社: 角川書店

学校で起きる事が世界の大事事件とシンクロして面白いので、ぜひ読んでみてほしいです。

ゴミの島のサバイバル

ゴムドリ co 著

出版社: 朝日新聞出版

ほんとうに、海が、ゴミになったら、いやだと、思いました。

桜台小 1年

田中 喜介 さん

【この本に出会った場所】

ほんやさん

富田小 2年

矢木 朝陽 さん

【この本に出会った場所】

あさけプラザ図書館

海蔵小 5年

後藤 暖乃 さん

【この本に出会った場所】

図書室

中央小 5年

菅 愛莉 さん

【この本に出会った場所】

中央小学校の図書室

広報 よっかいち

広報よっかいち 9月下旬号からとっておき情報

～スポーツの秋、到来!秋空のもと、体を動かそう!～ 秋の市民ハイキング大会

行程: 諏訪公園 → 三滝公園 → 霞ヶ浦緑地公園 → 霞港公園・ポートビル(昼食・休憩) → 浜園緑地 → 近鉄富田駅(約9.9km)

日時: 10月24日(日) 8:50集合 集合場所: 諏訪公園噴水前

持ち物: 弁当(小雨の場合不要)、飲み物、雨具など

申し込み: 不要 ●その他: 小雨の場合は実施します。中止の確率は、当日6:30以降に市役所警備員室(☎354-8177)へ

問い合わせ: スポーツ課(☎354-8429)

どろどろ 投稿募集!

11月号でもどどん投稿を送ってください。市立図書館に展示されることもあります!

作品が掲載された人とクイズの当選者には、市立博物館・プラネタリウムのペアチケットと、四日市の限定グッズをお送りします。(写真はイメージです)



投稿の方法

投稿用紙に必要な内容を書いてください。投稿用紙は各学校に置いてあります。下記のホームページからも印刷できます。

送る方法

学校の先生に渡すか、投稿ポストに入れるか、下記の編集部あてに郵便でお送りください。

締め切り

11月号分は10月7日(木)までに編集部へ(締め切りを過ぎてでもどどん送ってください!)

宛て先

四日市市教育委員会四日市子ども広報編集部 〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

ホームページはこちらから

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1499324784643/index.html>



四日市市立博物館・プラネタリウムに来てね

秋番組: 12月5日(日)まで (現在、座席数を制限しています。)

「四日市子ども広報」11月号は令和3年11月中旬に発行予定です。

編集後記 ～編集部から～

「お仕事おしえて」のコーナーで、映画監督の瀬木直貴さんにインタビューをしました。映画が完成するまでには4年もかかることを皆さんは知っていましたか。それでも瀬木さんは夢や目標に「一生映画制作を続けること」をあげられていたのが印象的でした。長い時間がかかっても、みんなで協力して1つのものを作り上げた時には大きな喜びを感じますよね。皆さんの中にも、すでに一生続けたいと思えることに出会った人がいるかもしれません。これからはいろいろなことに挑戦して、自分が好きなこと、一生続けたいと思えることを見つけてみてください。